

創立十五周年記念シンポジウムプログラム

『次世代の支援プラットフォームは何をめざすべきか』

日 時 : 2019年11月8日(金) 14:15 ~ 17:40

場 所 : 東京大学 伊藤国際学術研究センター (伊藤謝恩ホール・多目的ホール)

参加費 : IIRS 会員 8,000円 / 非会員 10,000円 / 学生 2,000円

14:15 ~ 14:20 はじめに 安永 卓生 (九州工業大学)

【基調講演】

14:20 ~ 14:50 座長 : 田中 信夫 (名古屋大学)

「収差補正 STEM の新展開と材料科学への応用」

幾原 雄一 (東京大学)

14:50 ~ 15:20 座長 : 豊岡 公德 (理化学研究所)

「ライブセル解析で植物の本質を視る」

東山 哲也 (名古屋大学 / 東京大学)

【特別講演】

15:30 ~ 16:10 座長 : 臼倉 治郎 (名古屋大学)

「酵母に向き合った半世紀 基礎研究への思い」

大隅 良典 (東京工業大学・特別荣誉教授)

2016年ノーベル生理学・医学賞 受賞

16:10 ~ 16:40 (学術展示・商業展示) 発表・討論

【記念講演】

16:40 ~ 17:10 座長 : 登田 隆 (広島大学)

「企業における電子顕微鏡の利用と IIRS に期待すること」

広瀬 治子 (帝人株式会社)

17:10 ~ 17:40 座長 : 澤口 朗 (宮崎大学)

「脂肪滴の謎を探る」

藤本 豊士 (順天堂大学)

祝賀会・意見交換会 18:00 ~ 20:00

お申込み／お問合せ : 認定 NPO 法人総合画像研究支援 創立十五周年記念事業実行委員会 事務局

HP : <http://www.jiirs.org> mail : info@jiirs.org Tel : 03-3515-6477 / Fax : 03-6380-8411

協賛 : 東京大学・日本電子産学連携室

後援 : 日本顕微鏡学会、日本組織細胞化学会、日本神経科学学会、日本植物学会、酵母遺伝学フォーラム

高分子学会、日本細胞生物学会、日本解剖学会、日本醸造学会、日本醸造協会

バイオインダストリー協会、日本分子生物学会、酵母細胞研究会、日本農芸化学会、日本生物物理学会

次世代の支援プラットフォームはなにをめざすべきか

— NPO 法人としての支援の在り方 —

認定特定非営利活動法人・総合画像研究支援（以下、本法人と呼ぶ）は、平成16年度より、主として生命科学の研究に対する超微構造研究技術の提供と支援、研究方法論に関する専門的助言と研究成果の評価、高水準の技術者と研究者のネットワークづくり、その能力と経験の有機的な活用、それらの技術を継承する若手研究者・技術者の育成等により、わが国の科学技術の振興に寄与することを目的として活動を始めました。

本法人は、以来15年に渡り、数多くの学術研究機関や企業に対して、主として電子顕微鏡技術による画像の生成と処理、そして、その解釈に関する支援を行ってきました。また、新技術振興渡辺記念会等の調査研究を継続的に進め、各種の提言を行い、実践してきました。その中で、共用利用施設の必要性を提言した後、平成21年度からは、微細形態科学研究装置・共同利用ネットワーク(Network for Collaborative Use of Microscopy: CUMNET)を立ち上げ、現在では17研究機関から登録がなされています。今では、国が支援する各種の共用利用施設(プラットフォーム)が各種成立しているなかで、先見性をもってその必要性を示してきたといえます。現在も、若手研究者の博士への進学意欲の低下などに対し、研究指導者の在り方に光を当て、提言を行うなど、次世代の科学研究の振興に寄与するべく活動を続けています。

平成26年度には創立十周年記念事業を開催し、皆様からのご支援と期待を頂きました。そこから早5年、今回、十五周年を迎えることに為りました。この5年間で、顕微鏡、特に電子顕微鏡技術およびその環境は、劇的に変化してきました。平成29年のノーベル化学賞がクライオ電子顕微鏡が対象となり、それに相並行する形で、生物系においても、AMED支援による創薬等先端技術支援基盤プラットフォーム(BINDS)によるクライオ電子顕微鏡の共用利用、また、科学研究費補助金事業による先端バイオイメージング支援プラットフォーム(ABiS)など、先端的な研究・開発に係わる機器利用及び技術支援の仕組みができました。

ここに至り、15周年を迎える本法人が、NPOという立場として行うべき、また、提言すべき、次世代の先駆的なプラットフォームはどこに有るべきかを再考すべき時期だともいえます。学術目的としての学会とも異なり、国に支援され、指導される各種のプラットフォームとも異なる、次代の支援プラットフォームの在り方を模索する挑戦の場となることを目指します。今ここに皆様のご意見を頂ければと考え、15周年記念事業を開催する事としました。今後の本法人の更なる発展に向け、皆様のご指導・ご鞭撻、ご支援のほど、宜しく申し上げます。